

36歳 埼玉県議会議員

吉田よしのり

通信 第144号 2010年 夏秋号

新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)

電話 048-483-2777

FAX 048-483-2780

ホームページ <http://www.yoshiday.com>

メール saitama@yoshiday.com

【発行：民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

●1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(35才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て、法政大学法学部を卒業。卒業後、野村證券㈱に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。勤務中は、ファイナンシャルプランナー(AFP)資格、アナリスト・経済・資格等も取得、生の経済を学ぶ。●2000年2月、新座市議会議員に史上最年少、25歳で、市政始まって以来の3,855票でトップ当選。●2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。財政問題、教育問題等を中心に取り上げる。●2007年4月、同選挙に23,062票、トップにて再選。無所属、民主党を中心とした会派を結成。自民党に次ぎ約20名を擁する第二会派の政策審議会長をつとめる。●趣味は、旅行、水泳、サイクリング、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。好きな言葉は「初心不可忘」「お前がやらずに誰がやる、今、やらずにいつできる」



これからの地方政治を考える・新座市・埼玉県は？



大阪府で橋下知事が当選したのは2008年。都道府県知事としては最年少で当選した知事は、大阪府と大阪市の二重行政解消のため、市と府を再編する大阪都構想をぶち上げるなど、新しい発想で行政を展開しています。

その橋下知事は今年春、地域政党「大阪維新の会」を立ち上げました。知事は維新の会について、「都市改造のための政治闘争」と語り、単なる大阪の問題というよりは、今後の地方政治の枠組みをめぐる問題としてとらえているようです。

埼玉県でも6月に上田知事を中心に県内の若手議員を中心とした研究会を立ち上げました。私自身も副事務局長として会の運営に携わっていますが、これからの地方政治の流れの中で、自民党や民主党、みんなの党と言うような、国と動向を同じにする流れではない、新たな道を探りたいとも考えています。

現在、保育所整備をしようとすると、市・県・国と三者が補助金や法律、条例などで関わっています。子ども一人当たり約50万円の税金が注がれているとも言われ、多くの役所がかかわることによる無駄が指摘されています。また、税金を徴収する作業自体も、そのシステムや実際に徴収する事務も市町村、都道府県でばらばらという現状です。それを統合する議論もようやく始まったばかり。

そして何より、これらの大胆な制度改革は自民党や民主党と言った政党間の対立やイデオロギーの問題では全くなく、あくまでも、これからの地方の姿をどうしていくかという、基本的なスタンスが焦点になってきます。



民主党政権ではそのマニフェストに、国からの補助金を全面的に改め、地方が自由に使用できる「一括交付金」に改めると主張しています。確かに今までは、国が地方を政策的に誘導するため、公共工事などのハード事業には高い補助金を、一方で子ども支援などのソフト事業には低い補助金を、といった差をつけてきまし

た。そのため、地方は国の影響を相当受けている面があります。それが、一括交付金化することにより、国の介入がなくなると同時に、地方政府自体にも、施策実行の大きな責任が伴ってくることとなります。

都市間競争といった言葉に代表されるように、今後、住んでいる地域によってサービスが大きく変わる時代がやって参ります。たとえば、保育行政はすべて地方政府の基幹と責任で行うとなれば、A市では保育料は高いがサービスがよい保育が行われ、B市は保育料は安いサービスは余りよくない保育が行われるかもしれません。そして、そのサービスの責任もすべてはA市やB市が負います。



以上は一例ですが、こうした地方政府のあり方、どのような分野を地方の責任で行うサービスにするか、その量、質等、地方の姿をどのようにしてゆくべきなのかといった議論を早急にまとめ、新座市や埼玉県と言う地域から、この国の形を変える。そういった気概を持って、地方政府改革にまい進して参ります。

スタッフよい一言！

スタッフの長谷川です。現在、小規模でのタウンミーティングを様々な地域で行っているのですが、その地域でしか分からない問題など、皆様と意見交換をするなど とても有意義な時間となっています。市政、国政は興味があっても県政となると、なかなか。。と思っている方には是非一度足を運んで頂きたい！です。少なくとも私はいつも目からウロコ状態です（笑）本当に堅苦しい雰囲気ではなく、アットホームな感じなので、幅広い世代の方に来て頂けたら幸いです。お子様づれの方も是非お待ちしております^^

マニフェスト検証大会を開催！

埼玉県議会とさいたま市議会と合同で、マニフェスト（期限や財源を示した選挙公約）検証大会を開催しました。所属党派の政策責任者として、前回の県議選の際にお示したマニフェストの達成状況について発表させていただきました。

来年4月には私にとっても三回目の審判を受ける時期となります。新しいマニフェストに何を掲げるべきか、埼玉県でこういった問題を取り上げてほしいという課題がありましたら是非、ご連絡ください。（下・掲載新聞記事）

2010年（平成22年）7月18日（日曜日）

第2総合 (2)

貧困の意識の違いについて！



県議会で「生活保護」の問題を何度か取り上げるようになり、事務所にも生活保護に関する問い合わせが多くなりました。純粋に手続きの仕方の問い合わせはもちろんですが、「あの方は生活保護を受けているのに●▼な状況をしているようですが・・・」といった問い合わせもあります。

子供に対する貧困の意識についても日本人は大変厳しいようです。全ての子どもに与えられるべきものは何か、との調査では、「おもちゃ」の回答ではイギリスでは6割以上が必要としているのに対し、日本人はわずか12%。「一年に一度くらいの旅行」でもイギリスは7割が必要としているのに対し、日本は二割。他の項目でも日本人は大変貧困意識が強い結果が出ています。皆様はどうお感じになりますか？

吉田よしのりの一行日記

- （詳細はホームページにて公開中！）
- 5/15 参議院選挙打合せ会議等
 - 5/16 ひばりヶ丘駅頭、消防友の会定期総会
 - 5/17 食生活改善推進協議会総会等
 - 5/18-20 県議会・議会運営委員会視察
 - 5/21 新座市婦人連合会定期総会等
 - 5/22 NPO 法人新座市障害を守る会総会等
 - 5/23 新座市茶道連盟・お茶会等
 - 5/24 事務所スタッフミーティング、会議等
 - 5/25 志木駅頭、打ち合わせ会議等
 - 5/26 新座駅頭、打ち合わせ会議等
 - 5/27 ひばりヶ丘駅頭、市内地域訪問等
 - 5/28 新座市防犯被害者支援協議会総会
 - 5/29 吉田よしのり後援会「芳友会」事業
 - 5/30 新座市合唱団演奏会、打合せ会議
 - 5/31 県議会会派打合せ会議、懇親会等
 - 6/1-3 県議会・企画財政常任委員会
 - 6/4 県議会会派打合せ会議、事務処理等
 - 6/5 新座市法人保育園幼年消防研修会
 - 6/6-8 市内地域訪問、事務処理等
 - 6/11 定例県議会・会期打合せ会議等
 - 6/12 事務所スタッフミーティング、懇親会
 - 6/13 上田塾開校式、研修会等
 - 6/14 衆議院議員・定期総会、懇親会等
 - 6/15 県議会打合せ会議、市内地域訪問等
 - 6/16 市内打合せ会議、懇親会等
 - 6/17 参議院選挙打合せ会議、懇親会等
 - 6/18 県議会・会派事務会議、懇親会等
 - 6/19 池田・前原集会所・県政報告会
 - 6/20 日本地方財政学会研究会(青山学院)
 - 6/21 事務所にて事務処理、打合せ等
 - 6/22 市内地域訪問、打合せ会議等
 - 6/23 県議会打合せ会議、警察友の会総会等
 - 6/24-30 参議院選挙・関係手伝い等
 - 7/1 商工会青年部献血事業手伝い等
 - 7/3 新座市消防団視察研修同行等
 - 7/4 障害者を守る会、新座市営の夕べ事業等
 - 7/5-11 参院選挙、関係手伝い等
 - 7/12 児童養護施設、県議会打合せ等
 - 7/13 さいたま市議団との会議、記者発表等
 - 7/14 定例県議会・議会運営委員会・本会議
 - 7/15 定例県議会・議案調査等
 - 7/16 議案調査、市長との行政連絡会議等
 - 7/17 埼玉県議会・マニフェスト検証報告会等
 - 7/18-19 市内地域訪問、地域祭り等に参加
 - 7/20 県議会・議案調査、会派打ち合わせ等
 - 7/21 県議会・議会運営委員会、本会議等
 - 7/22-23 県議会・本会議質疑等
 - 7/24 子どもの貧困・研究会、新座阿波踊り等
 - 7/25 朝霞地区民謡の会発表会等
 - 7/26 定例議会・本会議質疑、意見書調整等

「執行部動かす力に」

民主系会派の公約を初検証

2007年4月の統一地方選で県議会とさいたま市議会に民主党所属立候補者が掲げたローカルマニフェストの進捗状況を検証する報告

会が17日、同市浦和区で開かれた。議会会派によるマニフェスト検証は初めて。おおむね「及第点の評価を下した。民主系会派の県議団（全支部代表18人と市議団（神崎功代表13人）の自己評価のほか、市議団の活動に関しては第三者評価委員会（代表「牧瀬裕地域開発研究所・博士」ほか5人）による外部検証を実施。議会での質問回数や執行部が政策に着手、実現したかどうかなどを評価基準とした。

このうち、第三者評価委員会は子育て支援や議会改革など6分野18項目の市議会派マニフェストの達成率を84%と評価。政策推進の主体者は首長であることから議員によるマニフェストは「抽象的な感否がめい。あくまでも議員（議会）から執行機関への『お願い』という位置付け」としつつも、「議員の発言や要望が執行機関を動かす、政策が実現されていると推測できる。市民ニーズの変化を意識しながら、この検証結果を生かしたマニフェストに生かしてほしい」と、二代表制の一翼を担う議会の政策提言の重要性を強調した。

市議会派の自己評価は達成率「81・4%」。来春の統一地方選で打ち出すマニフェスト策定に向けて「項目の具体化」などを課題とした。県議会議長は、「環境、産業分野の政策で上田清司知事の掲げたマニフェストと合致したことで、かなりの部分で達成できた」と指摘。その上で「国と市町村の間の県という立場でマニフェストを掲げることの難しさも感じた。市町村で独自にやっていたのではいかかという政策もあった。こうした課題を整理し、来年4月以降のマニフェスト作成に生かしたい」と述べた。（浜田裕行）



一般市民を含む約80人が参加した民主系県議、市議会のローカルマニフェスト検証報告会。17日午前、さいたま市内

マニフェスト達成のための検証

- ・子育て支援に関する政策の検証
- ・議会改革の検証、また、執行部が政策に着手、実現したかどうかなどを評価基準とした。